愛知県名古屋市中区丸の内（旧呉服町）方言の立ち上げ詞

太田 有多子

I. はじめに
①調査対象地：名古屋市は愛知県西部、濃尾平野の中央に位置し、伊勢湾に面している。江戸時代より、商業都市として栄えており、東海地方の中心地で、人口は２００５年現在２２１万余人である。名古屋市の中心地は太平洋戦争の戦火に遭い、そこで使われていた「上町音楽」はほとんど消滅し、現在では主に市内でも農村部だった地域の言葉が名古屋の言葉として使われている。本稿では、かつての上町である商家で生まれ育った話者の言葉をまとめめる。
②調査年月日：２００５年５月１２日 午後１時から３時まで
６月２２日 午後１時から４時まで
③話者：平林信子（大正１４年生まれ）
④調査者・調査場所：太田有多子・話者宅
⑤調査方法：統一調査票による質問調査
⑥その他：アクセントは棒引きアクセントで記す。話者の内省や調査者の注記は＜＞に記す。尚、＜男＞は特に男性使用表現を、＜女＞は特に女性使用表現を意味する。音声表記について、[♂]はエアー、[♀]でオージで表す。

II. 調査結果
I (1) どっこいしよ。休みましょう。
○ドゥッコイショ。ヤスモメー（どっこいしょ。休もう）＜話者：多くはドゥッコイショのみ言う＞
I (2) どうれ。出かけることにしよう。
○ヨレヤレ。ドゥッコイショ（やれやれ。どっこいしょ）＜話者：独り言であればヤレヤレドゥッコイショのみ言う＞
I (3) よいところ。とうとう山の天辺に着いた。
○ヨーレヤレ。ヤットツイタワー（やれやれ。やっと着いたよ）／バー ヤレヤレ。ヤットツイタワー（はぁ、やれやれ。やっと着いたよ）
I (4) しまった。もうちょっとで落ちるところだった！
○ホビーヤ。オディルトコダタ（うひゃー。落ちるところだった）＜話者：シマッタは言わない＞
I (5) くわぱくわぱ。恐ろしかった！
○アー。ピックリユーナ（ああ。ぴっくりした）＜話者：クワバラクワバラは先代女性から聞いたことがある＞
I (6) しまった！今度の魚は大きいぞ。
○ア。カカトル カカツル（あ。掛かっている、掛かっている）
II（7）またよ。飛び越えるしかない。
○マーエー。オモーチベティオンデミルマー（もういいよ。思い切って飛びでみるよ）
II（8）なにくそ！負けになものか。
○ナニガロー。マグセンデー（何よ。負けなよ）／ナニイッデリーラーズ。ワシダッテヤルワサー（何を言っているの。私だってやるよ）／ナニヨキートル。カツゾー（何を言っている。勝つよ）＜男＞／ナニヨキギャル。オレガマツガヤー（何を言っている。私が勝つよ）＜農村部・男＞
II（9）しめしめ！誰も気がついていない。
○ジメジメ（しほしめ）＜多用＞／ジメスター（しめた）
II（10）えっ。つまらないなぁ。
○ヤヤヤラ。エレーガッタガナー（やれやれ。大儀なことだね）＜多用＞／ウヒャー（うひゃ）／ウヤア（うやあ）／チェッ（ちょっと）＜男＞
II（11）ちくしょう！仕返しをしてやる。
○コンチキショー。オボエテレアーヨー（こん畜生。覚えてとれよ）／チキショー。ヤンダーソー（畜生。やり返してやるよ）＜男＞／ナニヨクトイトル。ヤッシロカー（何を言っている。やり返してようか）＜男＞
II（12）くそっ！覚えていろ！
○クソ。オボエテレアーヨー（くそ。覚えてなさいよ）／クソツ。オボエトレー（くそ。覚えていろよ）＜男＞
II（13）おやおや。いったいどうしたの？
○アレアレ。ドーボシマッターノー（あれあれ。どうしてしまったの）＜話者：オヤオヤは言わない＞
II（14）えへん、えへん。（我輩は村一番の力持ちじゃない。）
○エット。セツメーシタガルワ（ええと。説明してあげるよ）＜女＞／エート。セツメーシタガルワ（ええと。説明してあげるよ）＜女＞／エーッ。セツメーシタガルワ（ええと。説明してあげるよ）＜男＞
II（15）てな。ここはどこだろう？
○アレーッ。マヨッタケーナー。ヨヨ ドヨダッタイナー（あれ？迷ったかな。ここはどこだかたかな）
II（16）はい。承知いたしました。
○ヘエ（はい）＜話者：ヘエのみである。但し、電話の受け答えはヘエヘエ＞
II（17）はい。宜しくお願いします。
○ヘエ。ヨーゴゼアーマース（はい。よろしけございます）
II（18）ええ。ここに居ます。

−91−
○－エ。ヨニオリマス（はい。ここにおります）
II（19）んだ。私の傘です。
○ポン。ワタシ（はい。わたしのだ）
II（20）さよう、さよう。あなたの言う通り。
○ホーダ、ホーダ。アンタノイヤーストーリダガネ（そうだ、そうだ。あなたの言うとおりだよ）
II（21）はいきた。おやすみなご用です。
○ホーホー エーヨ。マケアートエーデ（ほおほお、いいよ。任せおいて）
II（22）よっしゃ。やりますよう。
○ヨッシー。イッペン ヤテミルワ（よし。一度、やってみるよ）
II（23）よしき。お引き受けいたしましょう。
○ヨーショシ。ヤラシマウネ（よしよし。やらせてもらうね）
II（24）がってんだ。一緒にしましょう。
○ヨーショシ。イヨメヨーカ（よしよし。行こうか）
II（25）かっぱのへだ。簡単だ。
○ヘーキヘーキ。ドーデットマ ネーウ（平気平気。どうってことないよ）＜多用＞／ヘノカッパガワ－（へのかっぱだよ）
II（26）いええ。とんでもございません。
○イーエ。ドーミシテ（いいえ。どういたしまして）
II（27）なんの。たいしたことではございません。
○ナーニガ ナニガ。ホンナコト イッテロウヨナコトデ ネーガネ（何か、何が。そんなこと（礼）を言ってもらうようなことではないよ）／ナーニイヤースデスワス（何かをおっしゃいます）＜古＞
II（28）なあに。擦り傷もらい、すぐ治るさ。
○ナーニー。ジッキト ナオルガネ（何。すぐに治るよ）
II（29）なにさ。いつも調子の良いことばかり言って！
○ナーニー。カッテナトバッガイッテ（何。勝手なことばかり言って）
II（30）いやはや。とんだ締めに遭いました。
○マ－、エレアーメニアッタワ（まだ。大変な目に遭いましたよ）
II（31）へん。勝手にしやがれ。
○ホン。ヨーウ（ふん。いいよ）
II（32）なめるんじゃねえよ。こいつ！
○トーレーコト イットテカンニー（くだらないこと言っていてはいけないよ）／ト－レーコト イヤーナヨ（くだらないことを言うなよ）／トーレーコト コイトルナヨ（くだらないこと言ってるなよ）＜男＞／バカニスルナヨ（馬鹿にするなよ）
II (3.3) 児顔じゃない。口から出させと言って！
○ジョーダン イヤースナヨ（児顔をするなよ）／ジョーダン ユーナヨ（児顔をするなよ）＜男＞／ジョーダン イッテカンノ（児顔を言っては駄目だ）＜女・かなり強い口調＞
II (3.4) だまらっしゃい。出恥目ばかり言って！
○ダマットレアー。エーカゲデオナダクヤカ イワシテ（黙ってないさい。いい加減なことばかり言って）／ダマッテレアー。エーカゲンヨダクヤカ イワント（黙ってないさい。いい加減なことばかり言ってないで）
II (3.5) そは間屋がおろさね。黙っていられね。お。
○ソーワ トニガ メロオロサンニ（そは間屋が落ろさないよ）／ソーワ トニガ メロソシススカ（そは間屋が落ろししないよ）／ソーワ トニガ オロサカス（そは間屋が落ろすものか）
II (3.6) うそヘチャもありやしね。我慢できね。
○クブモヘチャクレモ アレモカ（くそヘチャくてあるものか）＜多＞／ウソモハチノアタモ オレモカ（嘘も詐の頭もあるものか）＜男＞／ウソモヘチャカモ アレシゲンガネ（嘘も桁もないよ）＜女＞
II (3.7) 寝言は寝て言え。このよう。
○ネグトツヨーナクオロックヤカ イーヤガッテ ネグトワネティエー（寝言のようなことが話って、寝言は寝て言え）＜男＞
II (3.8) あたりきしっかりのけつの穴。当たり前だ！
○ソトトーリ ソトトーリ（その通り、その通り）＜女＞／ソーダ ソーダガー（そうだ、そうだよ）＜男＞／アタリキジャリキ（あたりきしっかり）＜男＞
II (3.9) 奇妙きてれった。それは変だ。
○ギモーキテレツダネー（奇妙天帝だね）／ギモーキダネー。ヘンダネー（奇妙だね。変だね）＜女＞
II (4.0) ほう。それは親孝行なお子さんですね。
○ホーカネ ホーカネ。オヨコーチエーテー（そうかね、そうかね。親孝行でいいね）
II (4.1) まいったまいった。仕方がない。
○ビックリ ビックリ。シッカダネーハー（びっくり、びっくり。仕方がないね）＜女＞／ビックリコーチエーナー（びっくりしたね）＜女＞／マイカ マイカ（参った、参った）＜男＞＜話者：驚いても感心しても感激してもうんざりしてもビックリを使う＞
III (4.2) もしきもし。すみません。役場はどこにありますか。
○アノー。スイマセンガ ヤクパワ ドイフェーニッタライーデスカネー（あの。すみませんが、役場はどのように行ったらいでしかね）
III (4.3) のうのう。旅の人。お立ち寄り下さい。
○チョット チョット。オギャクサン。マー ヨッテッテチョードゥー（ちょっと、ちょっと。お客さん。まあ、寄って行ってください）/ソヒショ。ドーソ。ヨッテッテチョー デゥー（ちょっと。ちょっと。寄って行ってください）/古く>話者：知っている人に対してはチョット チョット。マー エーナ。ヨッテッテチョードゥー（ちょっと、ちょっと。まあ、いいでしょう。寄ってください）>

Ⅲ（44）はら。ご覧なさい。向こうに公園があります。
○チョット。ミデ ミデ。アスコミ ネーキンガ オルガネー（ちょっと。見て、見て。あそこに公園があるよ）/チョット チョット。ミデー。アスコミ コーエン オルガネー（ちょっと、ちょっと。見て。あそこに公園があるよ）/ポレボレ。アラ ミデゴーラン。アスコミ ネーキンガ オルガネー（ほんぶれ。あれを見てごらん。あそこに公園があるよ）

Ⅲ（45）やいやい。こんなに早くからどこへ行くんだ？
○チョット。コノハヨカラ ドロイキヤース（ちょっと。こんな早くからどこへいらっしゃいますか？）<女>/ヤヤ。コノハヨカラ ドロイク（やいやい。こんな早くからどこへ行くの？）<男>

Ⅲ（46）よう。兄弟。これから何をするつもりだい？
○イエー。アンダ。イマカリ ナニスルノー（いやぁ。あなた。今から何するの？）<女>/ヨヨー。コレカラ ドースルー（ようよう。これからどうするの？）<男>

Ⅲ（47）いざ。さらば。
○ホンネラ。サヨーナラ（それなら。さようなら）/ホンネラネー（それならばね）<気 楽な表現>/ホンネラ。ドーモ（それなら。どうも）<気楽な表現>/ホンネラ。ゴフレーシマス（それなら。ご無礼します）<丁寧な表現>

Ⅲ（48）ささ。ご遠慮なく、召し上がって下さい。
○サササ。ドーそ（ささあささあ。どうぞ）/ササ。ドーそ メシアガッデッテドー（さささあ。どうぞ 召し上がってください）/マーマー。イップシン イップスギシテドー デー（まあまあ。一度一度してください）

Ⅲ（49）さて。それそろい والسませんか。
○ホンネラ。ココラデ イップスギシトーカーナー（それなら。これからも一服しようかな）<女>/ホンジャーサ。ココラデ イップスギシトメアーカ（それならば。こちらで一服しま ましょうか）<男>

Ⅲ（50）これこれ。ちょっと静かにしなさい。
○(目下に対して)コレコレ。オトナシューシャーカー（これこれ。大人しくしないか）<女>/（同等に対して）ポレボレ。シズカニーシャーカー（ほれほれ。静かにしないか）<女>/（同等に対して）ポレボレ。シズカニセンーカー（ほれほれ。静かにしないか）<男>

－94－
III（51）おい。こら。万引きをしてはいけないよ。
○ちょっと ちょっと。ナニヤレアース（ちょっと、ちょっと。何をしながら）／オイ。
ちょっと。ナニヤルング オメー （おい。ちょっと。何をやるのだ、おまえ）＜男＞
III（52）おどりゃあ。いい加減にしないか！
○チョーコ。オメアーサンダチ エーカゲンニシャーヨー （ちょっと。おまえさん達、
いい加減になさいよ）＜女＞／オイ コレヨレ。オメアーラー エーカゲンニセンカ（お
い、これこれ。おまえ達、いい加減にしないや）＜男＞
III（53）おのれ。裏切りやがったな。
○クッソー。ウラギラレテマッタ（くそ。裏切られてしまった）＜女＞／クッソー。ウラ
ギャガッテー（くそ。裏切って）＜男＞
III（54）どっこい。その手には乗らない。
○ホーンナモン。ゾロデニノセレレンデカンダー（そんなもの。その手には乗らないか
ら駄目だよ）＜多用＞／ホーンナモン。ゾロデニノラスカ（そんなもの。その手に乗るも
のか）
III（55）どうだ。参ったか？
○ドーダ。メタックカー コーサンガー（どうだ。参ったか、降参か）
III（56）せいの。よいしょ！
○イ ミノチャン（一、二の三）
III（57）よいし。どん！
○ヨイ。ドン（用意。どん）
III（58）いっせいの。で！
○イ ミノチャン ヨッ（一、二の三、よいしょ）
III（59）よいしょ、よいしょ。もう一息だ。
○ヨッショ ヨッショ。マーチ チョロットダー（よっこいしょ、よっこいしょ。もう
少し）＜多用＞／ヨッショ ヨッショ。マーヌスコンダー（よいしょ、よいしょ。もう少し）

※坂道を押し上げる時：ドッショ ドッショ（どっこいしょ、どっこいしょ）
III（60）うんとこしょ、どっこいしょ。もう少し。
○シトコラシー シトコラシー。マーチ チョロットヒッペラー（うんとこらせ、うんとこ
らせ。もう少し引っ張れ）＜多用＞／シトコラシー シトコラシー（うんとこらせ、
うんとこらせ）＜関＞
III（61）わっしょい、わっしょい。お祭りだ、わっしょい。
○エッチ エッチ エッチ エッチ（えっちら、えっちら、えっちら、えっちら）／ワッシュ
ショ ワッシュ（わっしょい、わっしょい）＜関＞
III（62）はじめはぐう、じゃんけん、ぽん！あいこでしょう。
インチャン ボイ（じゃないけん、ほか）＜古＞／ジャンケン ボイ（じゃないけん、ほか）＜聞＞／ジャンケン ボイ（じゃないけん、ほか）＜聞＞
＊あいこになった場合：マッベン（もう一度）＜古＞／アイコデ ボイ（あいこで、ほか）＜今＞／アイコデショ（あいこでしょ）＜今＞
Ⅲ（63）きをつけ、前へならえ、なおれ。
〇キツツケー マエーナラエ ナオレ ヤズメ（気をつけ、前に進む、直れ、休む）／キツツケー マエーナラエ ナオレ チューモグ（気をつけ、前に進む、直れ、注目）＜今＞
Ⅲ（64）きりつ、れい、ちくせき。
〇ギリツ レー チャクセキ（起立、礼、着席）
Ⅲ（65）ばんざい、ばんざい。やった、やった！
〇エレマー エレマー エレマガタ（立派、立派、立派だった）
Ⅲ（66）えいえいおう。頑張るぞ。
〇エイエイオー（えいえいえおう）＜戦後＞＜話者＞：戦前は気勢を上げるかけ声はなかった＞
Ⅲ（67）（中村君の誕生日を祝して）かんばい。おめでとう。
〇カンペー（乾杯）
Ⅲ（68）やっほう、やっほう。
〇オーティ オーティ（おおい、おおい）＜多用＞／パンセデー（万歳）＜戦前＞／ヤッホー（やっほう）＜戦後＞
Ⅲ（69）ふれえ、ふれえ。白組。
〇ジロヨ アカヨ（白よ、赤よ）＜古＞＜話者＞：古くはフレー フレータガカンパレ ガンパレ＜戦後＞／ジロヨ アカヨ（白よ、赤よ）＜最近・間＞／ジロ ガンパレテー。アカ ガンパレテー（白、頑張って、赤、頑張って）＜最近・間＞
Ⅲ（70）鬼は外、福は内。
〇（室内の四方へ）フワワワデ（福は内）（4回繰り返す） （家の表裏の外に向けで）オマワーツ（鬼は外）（1回言って、急いで戸を閉める）
Ⅲ（71）べらぼめ。とんでも無い子だ。
〇コレー エーカゲンニーシーケー。オーチャクデ ドーショモネアーコウダ（これ、いい加減にしないか。腕白でどうしようもない子だよ）／コレー エーカゲンニセンカ。オーチャクデ ドーショモネアーウネ（これ、いい加減にしないか。腕白でどうしようもないわね）
Ⅲ（72）それみたことか。わんざく坊主。
〇ソーレミー キズシダネアーノ。オーチャクバー（それ見なさい、傷したではない）
か。腕白坊主）

III（73）ざまあ、みろ。いい気味だ。
Oレミャー。ホンダデ イワンコトデネーニ（それ見なさい。それだから言わないことでないよ）

III（74）ちくしょうめ。ひどいことを言いまがる。
Oツメー。ヒーーデー コト イラシテ（衰め。ひどいこと言って）、女にコニシキョー。
ヒーーデー コト イヤガッテ（こん畜生。ひどいこと言って）、男に。

III（75）このようろ。どうしてくれようか。
Oコレ。ポッドモ ポッドモ ヨッテグルデネー（これ。追い払っても、追い払っても、寄って来るからね）、女にコラー。
ナンビポッドモ ヨッテゲッカル（こちら。何度追い払っても、寄って来る）、男にコラー。
ナントシテ ポッタラ ナン（こちら。なんとかして、追い払ってやらないといけない）、男に。

III（76）たわけ。ふざけた事を言うんじゃない。
Oコレ。ナンビナソリサウカルーナ ケガシデモシランシー（これ。何度言ったらわかるの、怪我しても知らない）、ナンビモ ナンビデモ カリゲトナバッガイデー。
ソウシ ドーチッテモシランシー（何度でも、何度でも、たわかったことばかり言って。そのうち、どうなっても知らない）

III（77）ばかやろう。いい加減なことを言うな。
Oコーレ。エーカゲンオコトバカイマースナ（これ。いい加減になることを言う、言うな）、女に。
オーカゲンナコトバッガニューニー（たわけ。いい加減なことばかり言うな）。男に。

III（78）あなかま。静かにしなさい。
Oヤッカマジー。ジズカニシャー（騒がしい。静かにしなさい）

III（79）しいとい。静かにして！
Oジー。ジズカニシャー（静かにしなさい）

III（80）ちんぶい。蛙、蛙、生き返る。
Oチシフイ（ちんぶい）<話者：相手に何か珍しいものを見せる時に得意げに言う> 
Oチシフイディフイ（ちんぶいをいぶい）<話者：怪我をして泣いている子供の気持ちを紛らす時に言う> 

III（81）あっかんべい。鬼さん、こちら。
Oアカベー（あかんべえ）<話者：子供同士で、冗談でする「嫌だ」という意思表示>

III（82）あっぱれ。お見事。立派です。
Oエレカガタ エレカガタ（立派だった、立派だった）/エレアー エレアー（立派、立派）

III（83）でかした、でかした。日本一。
○エレアカタ エレアカタ。ヨー ヤラシタワ。リッパナモンダ（立派だった、立派だった。よくやってよ。立派なものだ）＜女＞／デガアータ デガアータ。ニッポンイチ（でかした、でかした。日本一）＜男＞
Ⅲ（84）しつけい！すみません。
○ア― エレアコト ヤッテマッテ スイマゼンデシタ（ああ、とんでもないことをしてしまって、済みませんでした）
Ⅲ（85）あばよ。遠者でな。
○サヨーナラ―。オズンキデー（さようなら。お元気で）＜女＞／ドーザ。オマメニネー（どうぞ。お遠者でね）＜女・古＞／ショー。キーワケテ ヤッテチョーヨ（では、気をつけて過ごしてくださいよ）＜男＞／話者：男性はドーサを使わない＞／フンチャ。マークー オンキデー（それなら。まあ、元気でね）＜男＞／ホンチャ。マヨーニャッテチョーデアー（それなら。遠者に過ごしてください）＜男＞
Ⅲ．まとめ
①直接的な感情を発せられる感情について
感情を表す「立ち上げ詞」の中には、直接的な感情を発せられる感情音も含む。「立ち上げ詞」があるが、①自己の自発的行動を立ち上げるために、自己に向かって発信する「立ち上げ詞」では、マークー トピューパー ア・ユーヴァ・ウヒャー・チェッ・エークがたった。ここには、名古屋方言の独特といえる音はなかった。
②繰り返し語について
本調査では、自己発話からも他者への発話からも多くの繰り返し語がみられた。I．自己の自発的行動を立ち上げるために、自己に向かって発信する「立ち上げ詞」ではヤレレ・ヤーレヤレ・シンシメ・アレアレがたった。II．他者の発話に応答して、応答の発話を立ち上げる「立ち上げ詞」ではホーダホーダ・ホーホー・ヨレヨレ・ヘーキヘーキ・ナーニガナーニガ・ソノトリーソノトリー・ホーカンホーカネ・ビクリビクリ・マイタマイタがたった。Ⅲ．他者との関係を立ち上げるために、他者との言語情報を結節する「立ち上げ詞」では、祭りなどでのかけ声であるヨッコヨッコショクショク・ヨモシプロシショク・ドッコシドッコショク・アトコラートコラセソントコラセ＝アトコラーショントコラーション・エッチエッチエッチエッチ・ワッシュワッシュ・オービオン・ガントレガントレ・シソノシオカঀカを除いた中で、チョットクロット・モシモシ・クロットクロット・ホレホレ・ヤヨー・ササ・マーマー・コレコレ・エレアーエレアー・エレアカタエレアカタ・デケアータデケアータがたった。ⅣはⅢのような他者の存在によって、より強調される発話や応答では、強調ともなる繰り返し語が多く出るようだ。
③地域性のある表現について
設問によって、「立ち上げ詞」とその後に続く表現とが密接なものもあるが、ここでは、機械的に切り離して、「立ち上げ詞」の部分の表現に名古屋方言の特徴のあるものを取り
上げた。I（7）マーテー。I（8）ナーニガー／ナニイッテリャース／ナニコエートル／ナニコキャラ。I（11）ナニコイトル。II（27）ナーニイヤースアスワス。II（32）トーレーコート イッツテカンニー／トーレーコート イヤースナヨ／トーレーコート コイトンナヨ。II（33）ジョーダン イヤースナヨ。／ジョーダン イッツテカンノ。II（34）ダマットレアー／ダマッテレアー。II（35）ソーワ トミガ オロセセンニ／ソーワ トミガ オロセスカ。II（36）ウソモヘーチマモ アレセンガネ。II（38）ソーダ ソーダギャー。III（61）エッチ エッチ エッチ エッチ。III（62）インチャンホイ。III（65）エレアー エレアー エレアカッタ。III（72）ソーレミヤー。III（73）ホレミヤー。III（77）ターケー。III（82）エレアカッタ エレアカッタ エレアカッタ／エレアー エレアー。III（83）エレアカッタ エレアカッタ／デケアータ デケアータなどである。

◎階層的特徴を持つ「立ち上げ詞」
II（16）（17）（18）の応答「はい」にヘェがでた。これは、話者の育った環境が商家であることによる。

◎性差のでた「立ち上げ詞」
III（75）（77）では、女言葉にコレ／コーレが、男言葉にコラーがでたことで、性差がみられた。「立ち上げ詞」のみから、明確な性差を見ることが出来たのはこの1点だけである。

最後に、この資料は、女性話者からの情報ということで、全体的に黙やかな表現となったかもしれないことに留意する。

（おおたうたこ  榊山女学園大学）